

JR東海ユニオン幹部と 嶋田一派「JR東労組を良くする会」 とのただならぬお熱い関係！

ユニオン幹部と革マルといわれた嶋田一派「JR東労組を良くする会」なる組織とのただならぬ関係が、危険なユニオン組織情報であきらかにされている。

ユニオン幹部は、この組織が週刊現代によるデッチ上げ記事の上塗りをするべく行った「情報公開請求訴訟」にめちゃ喜んでいる。まさに異様な連中だ。

事実は、当時福祉事業協会やさつき企画で大幹部をしていた嶋田や阿部がよく知っている通り、横領の事実など一切ないということだ！

革マルといわれた嶋田一派が配布した「マングローブ」なる資料に、「嶋田」など、一派の方々の名前はあったのか？デッチ上げ集団のことなど、はなはだ信用などできるものではない！ま、せいぜい革マルといわれた嶋田さんと仲良しこよしをするがよい。

おっと、それからユニオン幹部「カサイチルドレン」からの質問について答えておこう。

マングローブとは「熱帯(ねったい)や亜熱帯(あねったい)地域の河口(かこう)など、満潮(まんちょう)になると海水が満ちてくるところ(潮間帯(ちょうかんたい))に生えている植物をまとめてマングローブと呼びます。日本では、九州南端にメヒルギ群落があるのがマングローブの最北端といわれる。」とのことである。これでおわかりか？